

沖縄高専 図書館だより

第6号



図書館から臨む学生寮と辺野古の海

目次

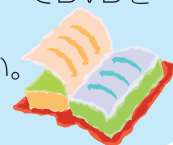
図書館トピックス	P2
ブックハンティングに行ってきました！	P3
図書館ってどんなところ？～Librarian 図書館職員三人衆への突撃インタビュー～	P4-6
私の国の図書館	P6
私と図書館	P7
貸出ランキング&教員コラム	P8

学生図書委員会委員長のコメント

森岡拓海（生物資源工学科3年）

沖縄高専の図書館には、数多くの蔵書が存在します。数学や物理学、機械工学、情報工学、化学の専門書など高専らしい本に始まり、日本文学や海外文学、哲学などの娯楽として読む本や音楽・芸術など趣味に関する本、英語の力を伸ばすための多読の絵本や漫画などがあり、本棚を見ながら歩くだけでも様々な本を発見できるのでとても面白いです。その他にも、10紙を超える新聞や雑誌、さらには、AVコーナーでDVDを視聴することもできます。

沖縄高専の図書館はたくさんの楽しさで溢れています。ぜひ一度図書館に来てみてください。
図書館はあなたが来るのを待っています。



図書館トピックス

■ 各種講座を開催しました

4月～6月にかけて学科担任団との協力の下、3つの講習会を開催しました。

- ・ 新入生向け：OPAC講習会(検索した資料を館内で探すまで)
- ・ 2年生向け：ジャパン・ナレッジを中心とした各種データベースの紹介
- ・ 5年生向け：CiNiiとJDreamⅢの検索実習&ILL依頼方法

マイライブラリーからの本の予約やデータベースの利用法など、わからないことがありましたら、お気軽にカウンターへどうぞ!



■ 図書館開放

2013年はオープンキャンパス(6/29)、サマースクール(7/27)、高専祭(11/9～10)に図書館を開放しました。合わせて1,121名の方々にご来館いただき、図書館クイズ、図書館利用証の即時発行サービス等を実施しました。

沖縄高専図書館は、平日および通常期は土曜日も開館しており一般の方もご利用いただけます。本人・住所が確認できる身分証(運転免許証等)をご提示いただければ利用証も発行できます。どうぞお気軽にお越し下さい。



■ 「やさしい絵本から始める英語多読」講座を開催しました

6月29日、本校図書館において「やさしい絵本から始める英語多読」講座を開催しました。57名の方が参加し、総合科学科英語担当の先生方の指導のもと、充実した時間を過ごしました。また、多読の成果を生物資源工学科3年生の宮里春奈さんがプレゼンし、様々な質問に答えるなど、受講者からは「学習の励みになった」との声が多くみられました。

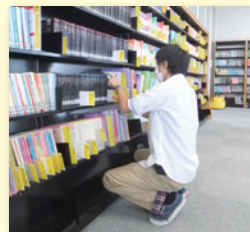
図書館では、約1万5千冊の英語多読図書を所蔵しており、絵本やペーパーバックも貸出できますのでどうぞご利用下さい。



■ 蔵書点検を実施しました

沖縄高専図書館には約6万4千冊の本があります。蔵書点検ではハンディスキャナーで1冊ずつバーコードラベルを読み取り、蔵書データと照合することで紛失している資料はないか、正しい場所にあるかどうか確認します。

8月22日～26日の5日間、蔵書点検を実施した結果、24冊の資料が所在不明でした。校内にポスターを貼っていますので、本を見つけた方は図書館へお願いいたします。



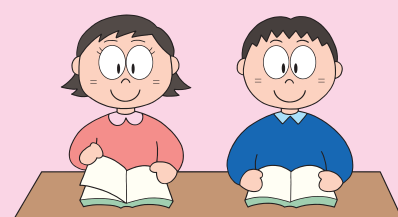
■ さまざまな図書館企画を行いました

図書館では、学生の皆さんの学習や、学校生活に役立つよう「図書館職員おすすめ図書」「学科別専門図書ベスト15」「卒業生企画 私と図書館・私からあなたへ贈る本」など、図書館企画を行いました。また、10月15日から約3ヶ月間、国立女性教育会館女性教育情報センターより、男女共同参画に関する図書を貸出するサービス(図書パッケージ貸出)を利用しました。学生からは、様々なテーマに沿った本をまとめて読むことができた、とても好評でした。



図書館から利用者の皆さんへのお願い

1. 借りた本は寮や学校に放置しないで大切に扱ってください。
 2. 返却期限を必ず守ってください。
 3. 図書館では大きな声で騒ぐこと、飲食は禁止です。
- ご協力よろしくお願い申し上げます。



ブックハンティングに行ってきました！

2013年11月4日(月)、スクールバスを利用して、那覇のジュンク堂書店にてブックハンティングを行いました。ブックハンティングとは、学生が直接書店へ出向き、「図書館に置いて欲しい本」や「みんなに読んで欲しい本」を学生の視点から選んでもらうという選書ツアーです。学生の意見が図書館の蔵書に直接反映される機会となっています。学生図書委員はクラスで希望があった本の他、書店に並んでいる本から興味のあるものをじっくりと選びました。今回は、小説から専門書まで幅広いジャンルの本「合計 232 冊」を購入しました。



ブックハンティングに参加して

座間味玲奈 (情報 1 年)

ブックハンティングに参加して感じたのは、図書委員は色々な分野の本を、沢山読んでいるなということです。

専門の本から小説、漫画まで、どの分野のコーナーに行っても、図書委員が居るし、どの作家が好きとか、あの本読んだ?とか、本の話で盛り上がる事ができ楽しかったです。私も読書の幅を広げ、もっと色々な事を学びたいと思いました。そんな本好きのメンバーが選んだので、全て面白いと思います!皆さん、是非読破してみてください。

宮里南海子 (生物 2 年)

私は今回ブックハンティングに初めて参加して、自分なりに沖縄高専の図書館にはどのような本が足りないのかを考えながら本を選ぶのはとても楽しかったです。読んでみたい、みんなに読んでほしい本もこのブックハンティングで見つられたのでよかったと思います。自分が選んだ本を誰かが手に取って読んでくれるのを考えるとわくわくします。

久松航平 (メディア 4 年)

私は 4 年生になって初めてブックハンティングに参加しました。「これ高専生好きそうだなー」とか「これ好きなの俺以外に居るのかなー?」など考えながら本を選ぶ時間はとても楽しいものでした。そうして自分が選んだ本が貸し出されているのを見かけるとうれしくなります。

また自分ではなかなか手が出ない値段の専門書を図書館に入れていつでも読めるようにできるので、欲しい本がある人はいっそ図書委員会に入れば良いと思います!

糸洲嘉紀 (メディア 5 年)

クラスの希望した本を膨大な量の本の中から探し出すのが図書委員の仕事なのですが、その際に自然と他の本が目に入ってきます。そこで興味あった本や気になるタイトルに思わず立ち止まって気づいたら読書に集中していた、ということが何度もありました。ブックハンティングは、このようなちょっとした立ち読みから新たな興味が湧き、実際に自分の視野がいろんな方面に広がっていくことが実感できる、貴重なイベントだと思います。

図書館ってどんなところ? ~ Librarian 図書館職員三人衆への突撃インタビュー ~

今回は、学生図書委員会3年生が図書館職員3名にそれぞれインタビューを行いました。普段何気なく利用している図書館ですが、意外と知らないことだらけ…さて、どのようなインタビューになったのでしょうか?

■担当している業務はどのようなものですか?

主に、対外的な仕事、予算管理、図書の受入・登録、ILL業務(文献複写の受付など)を行っています。

対外的な仕事では、他高専や機関とのやりとりで様々な調査があるのでその対応をすることです。ILL業務は、ほしい文献(論文など)を他館に依頼して取り寄せる業務です。本も同じように借りることができます。

■なぜ、この仕事(司書)についたのですか?

私は以前就いていた仕事でよく図書館を利用して調べ物をしていましたが、その中で、図書館は使い次第で便利で面白い場所になるということを知りました。また、いろいろな情報が発信されていく中心的存在にもなりうるということを知りました。そんな図書館を介して利用者を間接的にサポートしていきたいと思ったので、資格を取り、司書の道へと進むことにしました。

■どのような人が司書に向いていますか?

まず、本が好き、図書館が好きというのは当然のことですが、仕事になると事務的な作業の他に先生方や学生、外部の方の相手をする機会が多くあります。なので、仕事に対する責任感とコミュニケーション能力があったほうが良いです。…でも、それは司書だけではなく、全ての仕事において言えることだと思います。

■今までで大変だった仕事はどんなものですか?

多読の本の設置でしょうか。約1万5千冊もある多読図書を「皆が使いやすいようにするにはどう設置したらいいか」「YL(読み易さレベル)順か、もしくはシリーズ順か」など当時の担当の先生と相談しながら、長期休業期間中に作業を行いました。それはとても気の遠くなる作業でした。その他今現在の仕事で大変といえば予算の管理です。限られた予算と時間の中で、皆が求めるような本を選書するのは大変ですが、利用者が喜んでくれれば大変だったことも忘れます。

■高専祭などのイベントでは図書館として何か行っていますか?

毎年、オープンキャンパスに地域の人たちを対象とした「やさしい絵本から始める英語多読」という講座を行っています。また、高専祭などには「図書館開放」し、一般の方に自由に見学してもらっています。そのときには図書館クイズラリーを行います。

■分類番号の小数点について教えてください。

図書館には多種多様な本がありますので、本に書かれた内容によってグループ分けを行い(分類)、そのグループごとに棚に並べて本を探しやすくしています。それが分類番号です。基本的には3桁ですが、さらに小数点をつけることによって細かく分類することができます。この分類によって、目的の本をより探しやすくしています。

■廃棄する本はどのように決めていますか?

沖縄高専は、設立して10年しか経っていないので廃棄する本はまだ発生していません。でもこの先、廃棄する本が出てきた場合は、廃棄する本としない本を区別するための規定を作らないといけませんね。



後列左より 池宮城香、新里牧、芳賀文
前列左より 森山謙、呉屋こなみ、森岡拓海、久高優也
(機械3年)(メディア3年)(生物3年)(情報3年)



■どのような本を注文しているのですか？

購入する資料の約9割がシラバスに掲載されている授業用の本や、学生のみなさんの授業や研究に必要な資料ですので、学術的な専門書が多いです。残りはリクエストやブックハンティングでの購入になります。読みたい本、みんなに読んでほしい本があったら、ぜひブックハンティングのときに図書委員に伝えてくださいね！

■本の注文はどのように行っていますか？

すでに所蔵がないか、ISBN、金額、冊数などに間違いがないかに気をつけて発注します。

(ISBNって何ですか？)

国際標準図書番号(International Standard Book Number)の略です。本の裏表紙の上の方にバーコードがあるのですが、その978から始まる13桁の数字がISBNです。世界中で出版される本についていて、この本にはこの番号とそれぞれ決まっているんですよ。

■届いた本はすぐに図書館に入るのですか？

いいえ。まずは本の受入や装備をしてから、図書館に本が並びます。

(装備って何ですか？)

バーコードや請求記号シールを貼ったり、貸出ができる状態にすることです。



■工夫、注意していることはありますか？

発注や受入では、正確さと早さを心がけています。本の冊数や、データ登録などのミスが起こらないよう細心の注意を払うと同時に、利用者の手元にできるだけ早く届けるように努めています。

■図書館司書のやりがいや、図書館でよかったことをお聞かせください。

本をご案内したときに「こんな本が読みたかった！」と言われると、心の中で「よし！」と思います。みなさんの“困った”の力になったときに、司書としてのやりがいを感じますね。学生や職員、先生方、利用者の方々のあたたかい心遣いに支えられながら、図書館業務に携わることができてとても幸せです。図書館では4人の職員のほかに、専攻科の学生も一緒に仕事をしているのですが、安心して業務を任せられる、とても頼もしい2人です。また、図書委員も図書館を盛り上げてくれる大事な仲間です。

沖縄高専の学生は素直で思いやりがあるのですが、夢にむかって努力を惜しまない強さも兼ね備えていて、とても素晴らしいと思います。みなさんの要求に応えられるように努力していきますので、これからも、学習や安らぎの場所として図書館をご利用くださいね。

■図書館司書資格を取るのは苦労しましたか？

私は働きながら通信教育で図書館司書資格を取ったんですよ。仕事と学業を両立させるのが大変でした。レポート提出やスクーリング出席や試験勉強など今思えばよく頑張ったと思います。

■やっぱり、本は好きですか？

好きです。しかし、たくさん本を読むというより、今の自分の心情に合ったお気に入りの本を何度も読むタイプです。実は意外と絵本も深いメッセージが発見できたり、絵を見ただけで癒されるので、疲れているときにお勧めです。

■図書館を利用する人は一日に何人くらいいますか？

平日では平均のべ約300人以上です。図書館で授業がある日、試験前になるとさらに増えます。土曜日はのべ約100人程度ですが、学外の方が多く来館されます。

■図書館の掃除について教えてください。

毎日閉館後に机をモップでふき取ったり、館内に落ちているごみを拾っています。

また週に1度、清掃業者さんが早朝に館内全体を掃除してくださっています。



■紛失した本は、再入荷しないのですか？

利用者が紛失した場合は弁償してもらっています。CD等の付録だけ紛失した場合も同様です。また、毎年行われる蔵書点検の際に発覚した不明図書は再購入していません。もし、図書館外で図書館の本が放置されていたら、届けてくださいね。

■返却延滞者に向けてメッセージをお願いします。

図書館の本は学校全体の財産です。誰かが延滞すると、次に読みたい人がその本に予約を入れても借りられなくなってしまいます。次に必要とする人のことを常に考えて返却期限を守ってくださいね。

■図書館職員から来館者に向けてメッセージをお願いします。

図書館は本、利用者、図書館職員で成り立っています。みなさんが頑張っている姿は、私たち図書館職員にとって一番の励みになります。「図書館に行けば何でも解決できる！」と思ってもらえるように、みなさんの力になれるよう努めて参ります。

また、本は学校全体の財産なので延滞、紛失、汚破損等がないようご協力お願いします。これからもみんなで協力してより良い図書館にしていきたいと思います！

おまけ～やってみました!! 全員で図書館業務体験～



まずはカウンター業務についての説明



正確さと速さが大切



図書の装備を体験中



付録のCDを探す



意外と緊張するカウンター業務



企画コーナーの準備



皆さん予定時間を過ぎても最後まで取り組んでくれました。ありがとうございました。



～インタビュー、図書館業務体験を終えての感想～

図書館の仕事を体験して、受付の対応だけでなく、古くなった本などの移動や、企画などでの本の陳列など、沢山の仕事があるんだなあと思いました。インタビューでは、図書館の知らなかったこととかを聞けてとても良かったです。
インタビューー一同

私の国の図書館 留学生の皆さんの国の図書館の様子を聞いてみました！ (ほぼ原文のまま掲載しています。)



ビリグト ビリグサイハン(生物3年) モンゴル出身

皆さん、こんにちは、生物資源工学科3年生のピカです。今回、母国の図書館について紹介する機会を頂き、ありがとうございます。

自分はモンゴルの首都ウランバートルにある“新モンゴル高等学校”の卒業生です。自分の高校の図書館はモンゴルの他の高校と比べると非常に便利で勉強する環境が良くできていました。しかし、放課後すぐに行かないと席が埋まってしまうほど小さい図書館でした。そのため、大学入試を受ける3年生向けの特別教室が図書館にありました。また、資料は沖縄高専ほど豊富ではありませんでしたが、留学するために必要な本や資料は十分にそろっていました。それに対し、沖縄高専の図書館は面積も広く、本の貸し出しが電子化されていたり、DVD閲覧ブースが設置されていたりなど、設備が充実している非常に良い図書館だと思います。また、幅広く多量の本、資料があります。特に専門的な本が多くて、実験レポートなどを書くときに役に立ちます。これからも、沖縄高専の図書館を多く利用し、在学中にたくさん本を読みたいです。

私と図書館

3月に本校を卒業される皆さんに高専生活を振り返り、図書館での思い出や賢い図書館利用術、図書館のことが好き！などについて自由に語ってもらいました。



機械システム工学科 浦崎秀司

初めて図書館を訪れたときは、館内の広さ、蔵書量にとっても驚きました。その日からもう5年目経ち、図書委員として3年目になります。図書館には、テストや受験勉強のためによく利用しました。また、機械工学に関する書籍は自分の手には届かないので、とても助かった経験が何度もあります。自分はよく書庫の方を利用しました。誰も入ってこないで落ち着いて本が読めます。最近は歴史に興味を持ち始め、三国志に再燃しています。書庫に中国語の蔵書があったのは驚きました(笑)在校生の方々にはただ単に調べるために利用するだけでなく、幅広くたくさんの本を読むために図書館を利用してもらいたいです。



情報通信システム工学科 比嘉聖

僕が図書館で好きな所と言えば「静かで落ち着く」の一言に尽きるでしょうね。マナーを守る人が多いため騒がしいということはなく、静かで落ち着いた雰囲気が大好きでした。低学年の頃は、集中して授業のレポートや課題に取り組みたいときは図書館でやっていました。実は、寮の自室や自宅より集中できました。また、TOEICの勉強も、騒がしい教室や吹き抜けでやらず、放課後すぐに図書館に移動して、閉館する20時までリスニングやらリーディングやら単語とか必死で勉強していましたね。今思えば、「どんだけ必死なんだ」って感じですが(笑)その甲斐もあってスコアが大きく伸びたので、「静かで落ち着く」という非常に勉強がやりやすい環境を提供してくれた図書館にとっても感謝です!!!!



メディア情報工学科 糸洲嘉紀

PBL発表やレポートなどの調査で図書館を利用するのはよくある活用法ですが、図書館では教科書・参考書なども貸し出していることはご存知でしょうか。私は非常に忘れっぽい性格で、授業で使用する教科書を持ってこなかったということが多々ありました。そのたびに図書館の教科書を使用させて頂き、なんとか難を逃れていました。しかし、本には限りがあり他にも借りたい人はいるので、ちゃんと返すようにしましょう。また、線を引いたりメモを書いたりするのはやめましょう。



生物資源工学科 多田一風太

沖縄高専に入学して5年が経った。図書委員歴も今年で5年目である。毎年ブックハンティングに参加し、3年次は図書委員長も務めさせて頂いた。故に、図書館への思い入れは人一倍強いと思っている。本が好きであり、真面目に勉強している学生に囲まれていると自分もやる気が湧いてくる。図書館は、私にとって居心地が良い場所なのだ。5年間、勉強や趣味のために、時には休憩場所として、本当にお世話になった。ここで、図書館のオススメ利用法を紹介したい。閲覧図書全体の散策である。本屋さんで全体を見てまわるように、自分とは関連のない分野の本を見てほしい。こんな場所にこんな本があるのかと、驚きとともに新しい発見があるだろう。本で調べものをする機会が少なくなった現代だが、これから多くの人にとって居心地の良い場所としてあり続けてほしい。



専攻科生物資源工学コース 棚原翔

私は、専攻科の2年間で沖縄高専図書館でのアルバイトの機会を頂き、日々業務に携わることで図書館内部に関わる貴重な経験を得ることができました。1年目には、新規本の登録や配架作業、閉館・開館準備、カウンター業務等、習得すべき多様な業務に苦労した反面、私自身の子供の頃からの憧れであった図書館業務に携わることができ、充実・感動した日々を送ることができました。2年目には、最上級生としての自覚を持ち、先輩方から受け継いできた知識・技術を後輩に指導することに励んで参りました。特に、アルバイトのみで開館する休日勤務では最上級生が私だけであるため、図書館を任されたことに対する責任感ある行動を心掛け、遂行してきました。そのため、私にとっての図書館とは、私自身の精神的な成長を促す場であると共に、責任ある図書館業務を遂行することで達成感を与えてくれた場所でありました。2年間の御指導を賜りました図書館職員方々に深謝申し上げます。



順位	回数	書名
1	56	The quest (Oxford reading tree ; Stage 9)
2	52	Pocket money (Oxford reading tree ; Stage 8)
3	50	No, you can't (Foundations reading library ; level 6)
4	48	Flood! (Oxford reading tree ; Stage 8)
	48	Storm castle (Oxford reading tree ; Stage 9)
6	47	Dutch adventure (Oxford reading tree ; Stage 9)
7	46	What was it like? (Oxford reading tree ; Stage 8)
8	43	Love online (Foundations reading library ; level 7)
	43	Let's party! (Foundations reading library ; level 7)
10	42	The kidnappers (Oxford reading tree ; Stage 8)
	42	The secret tunnel (Foundations reading library ; level 7)
12	41	The Penang file (Cambridge English readers ; starter level)
	41	The flying carpet (Oxford reading tree ; Stage 8)
	41	Does he love me? (Foundations reading library ; level 6)
	41	前夜祭=Eve ; 内人 side(都会のトム & ソーヤ,(9)巻)

順位	回数	書名
16	40	Survival adventure (Oxford reading tree ; Stage 9)
	40	The litter queen (Oxford reading tree ; Stage 9)
	40	Lost at sea (Foundations reading library ; level 4)
	40	The lost wallet (Foundations reading library ; level 6)
20	39	A day in London (Oxford reading tree ; Stage 8)
21	38	Let me out! (Cambridge English readers ; starter level)
	38	Viking adventure (Oxford reading tree ; Stage 8)
23	37	The rainbow machine (Oxford reading tree ; Stage 8)
	37	What a lottery! (Cambridge English readers ; starter level)
	37	A helping hand (Foundations reading library ; level 6)
	37	Trouble at sea (Foundations reading library ; level 6)
27	36	The truth machine (Macmillan readers ; 2, beginner level)
	36	The old promise (Foundations reading library ; level 6)
	36	The golden monkey (Foundations reading library ; level 7)
30	35	Frog and toad all year (An I can read book ; 2)

教員コラム

私の書棚

第 6 回 角田正豊 (メディア情報工学科教員)

「読書は人生を導く」

小学 6 年生の時、週 2 冊の本を借りることができるので、図書委員にしてもらった。瀬戸内の小さな町の少年図書館にも足繁く通った。ジュニア向けに書き直されたものが中心だが、とにかく沢山読んだ。心に一番残っているのは、「海底 2 万マイル」である。自然法則を理解しそれをうまく利用すれば、夢を実現できることを知った。この本が私にエンジニアの道を選ばせたと言えるだろう。英語が得意な私だが、大学に入ると英語で本を読み始めた。入学祝いのお金で、The Feynman Lectures on Physics を買い、辞書を引き引き格闘した。自分の頭にイメージを描きながら理解させてくれる非常に良い本であり、古典力学から量子力学まで幅広く知識を得ることができた。航空工学出身の私が光通信の研究開発に従事できたのは、この本で培った知識と思考力のおかげである。社会人になってからは、「坂の上の雲」が最も心をうった。小さな国の青年たちが、輝く雲のみを見つめて坂を上っていく生き方を私に与えてくれた。

3 年前に電子書籍リーダーの kindle を購入した。これに数十冊の本を保存して、自宅、職場、スタバ、公園など様々の所で、複数の本を並行して読み進めている。重さ 200g の持ち運べる「私の書棚」が、これからの私の人生をどう変え、どこに導いてくれるのか楽しみである。



学外者の方へ

沖縄高専図書館は、一般の方へも開放しています。また、利用証の発行を受ければ、図書の貸出が可能です。「利用証」の発行には身分証 (運転免許証等) の提示、「図書館利用願」(図書館カウンターにて配布) への必要事項の記入が必要です。どうぞお気軽にご利用ください。



奥付

「沖縄高専図書館だより」(第 6 号)

発行日: 平成 26 年 3 月

編集・発行: 沖縄工業高等専門学校図書館

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古 905 番地

TEL: 0980-55-4037 FAX: 0980-55-4067

図書館ホームページ

<http://www.okinawa-ct.ac.jp/toshokan/>